

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【公開番号】特開2002-204789(P2002-204789A)

【公開日】平成14年7月23日(2002.7.23)

【出願番号】特願2001-2674(P2001-2674)

【国際特許分類】

A 61 B 5/055 (2006.01)
G 01 R 33/48 (2006.01)

【F I】

A 61 B	5/05	3 1 1
A 61 B	5/05	3 8 2
G 01 N	24/08	5 1 0 Y

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月28日(2007.11.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体内の所定の物質の拡散現象を表す画像及び/又は物理量を取得するための信号計測部を有するパルスシーケンスに基づいて、前記被検体からのエコー信号の計測を制御する計測制御手段と、前記エコー信号を用いて、前記所定の物質の拡散現象を表す画像及び/又は物理量を取得する演算処理手段と、を備えた磁気共鳴イメージング装置において、前記パルスシーケンスは、前記信号計測部の前に、所望の組織からのエコー信号を抑圧するための反転パルスを用いる反転部を有することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項2】

請求項1記載の磁気共鳴イメージング装置において、前記反転パルスは、前記所望の組織の縦磁化を180°反転させるものであり、前記反転パルスから前記信号計測部までの待ち時間が、前記反転された縦磁化が略ゼロに回復する時間であることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項3】

請求項1記載の磁気共鳴イメージング装置において、前記反転パルスは、断熱パルスであることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項4】

請求項1記載の磁気共鳴イメージング装置において、前記反転パルスの励起周波数は、脂肪の励起周波数であり、前記信号計測部の励起周波数は水の励起周波数であることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

(1) 上記目的を達成するために、本発明は、被検体内の所定の物質の拡散現象を表す画像及び／又は物理量を取得するための信号計測部を有するパルスシーケンスに基づいて、前記被検体からのエコー信号の計測を制御する計測制御手段と、前記エコー信号を用いて、前記所定の物質の拡散現象を表す画像及び／又は物理量を取得する演算処理手段と、を備えた磁気共鳴イメージング装置において、前記パルスシーケンスは、前記信号計測部の前に、所望の組織からのエコー信号を抑圧するための反転パルスを用いる反転部を有することを特徴とする。